

平成31年4月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成31年4月26日(金) 9時00分から10時23分まで
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己
教育長職務代理者 垂井 美千代
委員 渡辺 義弘
委員 神田 岳委
委員 安東 雅幸

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	甲斐 尊	学校教育課長	後藤 徳一
社会教育課長	大戸 敏雄	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課総括課長代理	麻生 幸誠
学校教育課総括課長代理	瀧澤 愛	社会教育課総括課長代理	安藤 隆文
文化・文化財課総括課長代理	神田 高士		
教育総務課主査	米木 淳子	教育総務課主事	加藤由梨花

5. 傍聴人 木村 公治

1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

開会に先立ち、ここで、事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。傍聴に関しては、臼杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも教育長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、教育長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにし

たいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

それでは、傍聴を許可することいたします。

(傍聴者 入場)

これより臼杵市教育委員会、平成31年4月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りといたします。次に、会議録署名委員に、渡辺委員と安東委員の2名を指名致します。

今回の日程のうち、報告第6号専決処分の承認を求めることについて(教職員(小・中学校)の内申について)を非公開としたいので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」に基づき、採決を行います。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(委員 挙手あり)

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

2. 教育長報告

(教育長)

それでは、次第に沿って、2の教育長報告をいたしたいと思います。

- 1日 ・教育委員会辞令交付式
市長部局職員の新採用は8名で、事務職4名、保健師1名、学芸員1名、消防2名です。
- 2日 ・新任着任校長面談
・臨時校長会
新年のあいさつ等をしました。
・新採用教職員辞令交付式、教職員着任式
新採用教職員は7名で、小学校4名、中学校3名、転任が35名です。
- 3日 ・教育委員会職員ヒアリング
管理職以外9名、日にちを分けて実施しました。
- 5日 ・職員採用試験委員会
今回は障がい者の募集をしており、4月21日に採用試験がありました。応募が8名あったのですが実際受けたのは6名でした。24日に試験委員会がありそのう

ちの1人に絞りました。障害者雇用率が平成30年4月に0.1%上がり、2年後にまた0.1パーセント上がりますので早めに募集をかけたいと思います。

7日・県知事選挙

8日・小中学校始業式

9日・中学校、臼杵高校入学式

10日・小学校入学式

今年は桜がまだ少し残っていました。

11日・公立幼稚園入園式

野津幼稚園の入園式に行きました。臼杵幼稚園には垂井委員に行ってくださいました。臼杵幼稚園には新たに3人の園児が入ってきて、計10名となりました。

12日・定例校長会

教育委員会全体の運営方針について教育総務課、学校教育課、社会教育課、文化・文化財課、学校給食課、それぞれ説明をさせていただきました。

17日・海洋科学高校実習船「翔洋丸」竣工式

最初に臼杵高校の書道パフォーマンスが行われました。「翔洋丸」の名称は募集して決めました。海洋科学高校の3年生が自分の名前を付けて、「未来へ羽ばたく」という表現をしており、いい名前だと思いました。今回、大分丸と香川県の高校と共同運航で一緒に作ったということです。総トン数もかなり増えて499トンから673トンとなり、定員も増えています。ただ、校長先生の話によると人数の調整が向こうと合わせながらなるため大変で、自由が利かないとおっしゃっていました。

18日・全国学力・学習状況調査

今回は中学校の英語がスピーキングとヒアリングということで初めて取り組まれたのですが、残念なことにインフルエンザで何人か実施できなかったとの報告がありました。

19日・第1回県市町村教育長会議、情報化推進本部会議

大分県教育委員会の重点方針

①子どもの力と意欲の向上に向けた組織的な取り組みをする

②地域を担う人づくりと活力ある地域づくりの推進

③教育環境の整備

について簡単に説明がありました。特にスクールソーシャルワーカー、専門スタッフとの連携をしっかりとることとの話がありました。

働き方改革で随分先生方の環境が変わっています。残業が年間360時間以内という制限ができていますが、仕事を持ち帰っていて時間が把握できないことが心配です。外国人の生徒に関しての指導の問題もあります。外国人の生徒が来ることでも想定をしながら、状況に応じて外国人の職員の採用、言葉を翻訳できる機械等の

導入も検討する必要があると思います。そして、幼稚園教育ということで各市が抱えている公立幼稚園の在り方についての議論がされました。県が幼児教育センターを作って取り組んでいます、公立幼稚園の特色を出すということで、外国語を取り入れているところもあるようです。臼杵市が29年度に作成した幼児教育の臼杵子育ての羅針盤についても紹介させていただきました。

21日・障がい者の採用試験

22日・運営計画市長ヒアリング

・スポーツ推進委員委嘱式

今年が切り替えの年で22名、そのうち新たな方が5名となります。もう30年を超える方もいらっしゃるということで、ベテランから新しい方までということになります。

・定例記者会見

臼杵石仏カムトゥルーキャンペーンについて、CMの映像と共に記者会見で発表しています。

23日・県基礎・基本の定着状況調査

いずれも8月くらいまでに公表があるということです。

24日・臼杵市教育研究協議会総会

コミュニティスクール等、今年の取り組みについて紹介しました。

25日・定例教頭会

・学校保健担当者会議

・大学生奨学金選考委員会

・医学生奨学金選考委員会

27日・臼杵っ子学芸員3期生デビュー

28日・臼杵っ子ガイド12期生デビュー

時間があればご覧になっていただければと思います。

その他、2点あります。まず1点が、今年の10連休の関係もあり、冬休みの2日短縮の提案をしました。エアコンの整備が当初、夏休みは厳しいとのことでしたが、なんとか6月いっぱいできそうです。直接は関係ないですが、夏休みの短縮ということは考えていなかったため、冬休みを2日短縮することで提案しました。各学校が組合と年間授業時間が確保できるかの調査をさせていただいたところ、なんとか確保できそうなため、1日だけ短縮させていただくこととなりました。

2点目が、大分大学の教職員大学院の受け入れ確保についてです。現在何市かが受け入れています、大学が少し生徒数を増やしたいとのことで、臼杵市と他2市にも提案がありました。

以上で説明を終わります。質問等ありませんか。

(垂井委員)

質問ではありませんが、中学校の入学式で感じたことです。ある小学校が2学期くらいから荒れていたとのことで心配していましたが、その子たちが入学した中学校の入学式は非常に整然としており、体がぶれることもなく、式にきちんと参加していました。その後の様子も伺いましたが、今学校も非常に落ち着いているとのことで安心できるのではないかと思います。6年の3学期、あと10日で卒業式というような姿はどこにもありませんでした。臼杵幼稚園に3人加わり、年中から年長となった7名、新しく加わってきた3名となりますが、ちょっと動きが落ち着かないところがありました。行事の時に外に出るときや、自然とのふれあいのとき等は早めに教育委員会へ言ってくださいとのことでしたが、新しく入ってきた3名の保護者の方には、「臼杵市は就学前にこんな力をつけてほしい、こんな姿になってほしい、そのために園と家庭がしっかり連絡しあう。ということ願って、「臼杵子育ての羅針盤」というのを作っていますので、ぜひ読んで親としての在り方をお考えになってとにかく細やかに園と連絡をとってください、園は教育委員会と連絡をとってくださいとそして健やかに育てていきましょう」ということを入園式の時にお伝えをしました。

(渡辺委員)

新聞等で報道されたかと思いますが、どこかの自治体で小学校の卒業式が非常に華美になっていると。私の行った小学校は中学校の制服を着て華美とは縁遠かったのですが、学校によっては、羽織袴を着た学校がたくさんあって、「本当はしたくないのにみんながするからしないといけない状況になっている。そういったことを心配して、自治体のほうから華美にならないように通達を出した。」ということ、先日新聞かインターネットで見ました。私もずっと流れているケーブルテレビの卒業式の様子を見て、華美になりすぎているという気がしました。あまりエスカレートしすぎると、特に女の子が心配だと思ったのでどこかで言うておきたいと思いました。

(教育長)

私もそれは感じております。私が行った学校も女の子のほとんどが羽織袴でびっくりしました。実態も把握しながら華美にならないように指導する必要があるのかなと思います。

3. 協議事項

(教育長)

これより「次第3. の協議事項」に入りますが、「報告第6号」に入る前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

次に、「報告第7号」に入る前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

それでは、報告第7号の「臼杵市スポーツ推進委員の委嘱について」を説明します。

(社会教育課長)

報告第7号 専決処分の承認を求めることについて

臼杵市スポーツ推進委員の委嘱について、下記のとおり専決処分をしたので、臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年教育委員会規則第6号)第2条の規定に基づき報告し承認を求めるものです。理由としては、スポーツ推進委員の任期が満了となり、引き続き委嘱する必要があるためです。スポーツ推進委員については、3月31日で2年間の任期が終えたところです。今回22名の推薦をしております。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

報告第7号については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

それでは、これより、議案協議に入ります。

第13号議案の「臼杵市学校給食センター運営委員会規程の一部改正について」を説明します。

(学校給食課長)

第13号議案 臼杵市学校給食センター運営委員会規程の一部改正について

臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年臼杵市教育委員会規則第6号)第1条第2号の規定に基づき議決を求めるものです。理由としては、臼杵市学校給食センター運営委員会の事務局長を新たに置く必要があるためです。臼杵市学校給食センター運営委員会規定の第9条ですが、現行は「運営委員会の庶務は、教育委員会において処理する」となっ

います。庶務を事務局に変えて、「事務局に、事務局長を置き、臼杵市臼杵学校給食センター所長をもって充てる」と変えたいという案です。変更を行う理由として、給食は保護者からいただいた給食費を、給食センターの運営委員会の会計で賄っています。そのために運営委員会の通帳を作っています。以前は「運営委員会会長」という名前で通帳を作っていましたが、今、会長の後に校長先生の名前を入れないと使えないようになっています。2年の任期中で校長先生が代わるため、その都度免許証のコピーをいただき切り替えをしています。切り替えが7月のために、退職した先生の名前がまだ載っている状況です。先生方にお忙しい思いをさせてしまうため、事務局長をおき、今であれば、「事務局長 安東 信二」ということで事務処理をさせていただきたいと銀行と話をしました。銀行も規則なりのきちんとした写しが必要とのことで今回、改正させていただきたいという案です。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

第13号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

それでは、次に第14号議案の「臼杵市図書館協議会委員の任命について」を説明します。

(社会教育課長)

第14号議案 臼杵市図書館協議会委員の任命について

臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年臼杵市教育委員会規則第6号)第1条第13号の規定に基づき議決を求めるものです。理由としては、臼杵市図書館協議会委員の任期が満了となり、引き続き任命する必要があるためです。2年間の任期が4月30日で切れるため、令和元年5月1日～令和3年4月30日の2年間で4名の委員を任命していますが、委員は5名を予定しています。市P連より、もう1名予定をしているところですが、市P連の総会が5月25日の予定のため、あと1名に関しては次の教育委員会で新たに加えて提案したいと思います。委員は、植田 元子さん、益 美智子さん、仲村 善彦さん、加茂 千恵子さんの4名です。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

第14号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

次に、第15号議案の「国宝臼杵磨崖仏保存修理委員会委員の委嘱について」を説明します。

(文化・文化財課長)

第15号議案 国宝臼杵磨崖仏保存修理委員会委員の委嘱について

臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年臼杵市教育委員会規則第6号)第1条第13号の規定に基づき議決を求めるものです。理由としては、国宝臼杵磨崖仏保存修理委員会委員の任期が満了となり、引き続き委嘱する必要があるためです。委員は現在6名いますがその内、川野邊さんについては、東京文化財研究所を1年更新の任期となっています。そのために、年度ごとの更新をお願いしたいとのことで、令和元年5月1日～令和2年3月31日までの任期ということをお願いしているところです。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

第15号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

次に、第16号議案の「臼杵市文化財調査委員の委嘱について」を説明します。

(文化・文化財課長)

第16号議案 白杵市文化財調査委員の委嘱について

白杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年白杵市教育委員会規則第6号)第1条第13号の規定に基づき議決を求めるものです。理由としては、白杵市文化財調査委員の任期が満了となり、引き続き委嘱する必要があるためです。令和元年5月1日～令和3年4月30日までの2年間となります。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

第16号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

次に、第17号議案の「白杵城跡保存整備委員会委員の委嘱について」を説明します。

(文化・文化財課長)

第17号議案 白杵城跡保存整備委員会委員の委嘱について

白杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年白杵市教育委員会規則第6号)第1条第13号の規定に基づき議決を求めるものです。理由としては、白杵城跡保存整備委員会委員の任期が満了となり、引き続き委嘱する必要があるためです。任期は令和元年5月1日～令和3年4月30日までの2年間です。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

第17号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

4. 学力向上について

(教育長)

続きまして、「4. 学力向上」に移ります。「学力学習状況調査について」説明をします。

(学校教育課長)

先週18日(木)に「全国学力・学習状況調査」が小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました。今年度、大きな変更点が2点あり、1つ目は、これまで基礎を問うAと、応用力を問うBと分かれていましたが、今年度より一体的に評価するというので、A、B関係なく小学校で45分、中学校で50分の調査がありました。2つ目は、中学校で英語が実施されて、昔はリスニングでしたが、スピーキング(話すこと)の調査がパソコンと、ヘッドホンマイクを使って実施されました。実際に行われたテストの問題から少しだけ紹介をしたいと思います。小学校の国語は、食べ物、仕事等身近なものが題材にされていました。特徴的な問題として、地元の畳を作る方にインタビューするというものが応用的な問題として出題されており、実際社会見学に行って、地域の方にインタビューし、意図をくみ取りながら、自分の聞きたいことも聞き、自分の意見をまとめるといった問題が出題されており、印象的だと感じました。小学校の算数ですが、これまでの傾向とそれほど変わりはありません。日常生活の中で、算数がどのように活かされているか、活かすことができるかの力を問う問題が出題されていました。続いて中学校の国語ですが、今回問題用紙が2部あり、1部は開くと架空の新聞がついており、文章の構造を理解しながら、必要な情報を取り出したり、読み取ったりという問題でした。中学校の数学ですが、基礎応用一体的と言いつつ、最初の方に計算問題がいくつか出ており、高校入試問題にとっても近いという印象を受けました。最後に中学校の英語ですが、今年度初めて実施され、筆記が45分間でその後5分間のスピーキングの調査がありました。スピーキングについては初めて行われたので、実際の問題をご覧になっていただきたいと思います。

(問題上映)

(学校教育課長)

こういった調査があったのですが、各中学校のパソコンルーム等で行われ、隣の声が聞こえたり等、やや課題もみられたという現場の声もあります。新聞報道を見ると、全国で502校が実施できていないとのことでした。機材の関係や、教室トラブルもあったと思いますが、臼杵市内では順調に実施することができました。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(神田委員)

採点はどうするのですか。

(学校教育課長)

USBに各自のものが吹き込まれており、それを回収します。

(垂井委員)

実施の環境が整っていないし、機器が充足されていないところもあるということを十分考えないと、全国学力テストと銘打ってやるべきかということは大きな課題だと思います。

それから、今年度の入試問題について情報を集めました。私立の高校で特進がやや基礎、基本を大切にする方向だったため、子供の声の中に、「特進の方が優しかった」という声もあるくらい、基礎、基本に忠実という方向だったのに対して、県教委は、「基礎、基本を大事にした。中学校までの学習をきちんとしていればほぼできる。」というようなことを言っているながら、一般入試や、公立高校の入試で、「問題量が非常に多い。数学も公立高校の入試は基本的なことではなくて、難しいことに偏っていた」という声も聞きました。私立の一般や、公立高校では、国語に関しても、最後まで行きつかない子供もいるのではないかとというくらい問題量が多いということです。新聞の記事にも提示をされていましたが、今、情報を読み、読み取り、さらに読み取ったことを伝える力が要求されつつあると思います。一方で、新聞社の人にも聞きましたが、家庭の新聞の購読量が地域によってかなりバラつきがあり、地域によっては、取っているところが53%くらいで、45.6%は新聞を取っていないところもあるそうです。新聞記事の書き方は色々なところで参考になるので、学校に新聞を置いて、子供たちが日常的に文字を通して情報を読み、読み取るという力をつけることができる環境が必要であるような、入試の方向にも感じられました。

(渡辺委員)

今、スマホで検索をして情報を得る、固定電話も以前に比べると極端に減ってきている。新聞もそういう状況になってきている。今の若い人たちが、どういうところでそのような情報を得ているかということも加味してあげないといけない。新聞の教育を進めていこうということになると、学校側が新聞を準備する必要があるが、新聞に対する教育を行っていないかなければならないということがだんだん増えてきているのではないかという気がします。

(教育長)

難しい問題ですが、子供たちはスマホで読んでいて、本当にそれでよいのかという気がします。

(垂井委員)

長い文章が書けなくなっています。やはり環境を整えることが大事かと思います。

(渡辺委員)

今は目的が違い、情報を得るといふ時代になってきている。そこも考慮しないといけないかなと思います。

5. 教育予算等について

(教育長)

次に、「5. 教育予算について」委員の皆様から、何か要望等ございませんか。

(安東委員)

ここでいうべきかはわかりませんが、今求められている子供たちの力は、正解のない社会に突入する中で合意形成を図りながら、それを相手に伝えるプレゼン力と言われていると思います。白杵市の場合はICTの機器の整備を早い状況で取り組んでいただいているのですが、できるだけ全員の生徒が使えるような機器の整備も引き続きお願いできればと思います。

6. その他

(教育長)

続きまして、「6. その他」に移ります。「学校訪問について」と、「冬季休業の短縮について」を学校教育課より説明します。

(学校教育課長)

白杵市教育委員会の学校訪問日程についてですが、5月17日～6月14日にかけて今年度もお願いします。内容としては、1年生の授業参観と学校経営について学校から聞き取りを行う等です。3校の訪問時間が少し長めとなっています。昨年度、生徒指導上でやや課題が見られたということで、長めにとっています。よろしくお願いします。

続いて、冬期休暇の短縮についてです。先程教育長からも話がありました。昨年度の教育委員会の決定では2日短縮ということでしたが、今年度、年末年始休暇が3日まで、4日、5日が土日ということで、6日スタートとなります。学校の方から、3学期スタートに1日ゆとりがあるとスムーズだという声もあり、もう一度、授業日数の調査を行いました。その結果、エアコンが入ることもあり、夏季休業短縮ではないが、登校日に授業をする等の措置が行われ、冬休みが1日短縮でも確保できそうだという確認が取れましたので、月曜日始まりではなく、火曜日始まりで運用させていただきたいと思います。

(教育長)

説明が終わりました。意見等がありましたらお願いします。

(垂井委員)

3校については、新5年生を少しでもいいのでみせてもらいたいと思います。

(学校教育課長)

3校については、1年生以外にも見させてもらうことがあると伝えています。

(教育長)

次に、「読書のまちづくり推進委員の変更について」を社会教育課より説明をします。

(社会教育課長)

現在、平成28年～令和3年までの5年間、推進委員として委嘱をしているところですが、笹山 昭義委員から辞退の申し出がありました。そのため新たに益 美智子さんを委員として委嘱し、委員の変更を行うというものです。

(教育長)

説明が終わりました。意見等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

以上で、「その他」を終わりますが、「これまでのこと」や、「全体的なこと」でも構いませんが、何かご意見等ありませんか。

(安東委員)

先週、気になる学校に顔を出し、校長からも話を聞きましたが、1年生についても、2年生についてもきちんと授業を受けているとのことでした。ちょうど体育の授業があっていましたが、きちんとしていました。あと、学力のところもポイントなので、アシスタントティーチャー等の配置もそうですが、放課後土曜教室等少しずつ学力についても保障をしていく必要があるかなという話をしたところです。

先程教育長からも話がありましたが、海外からの移住というところで、中学校に1人入っています。会話は私も少ししましたが問題ありません。しかし、読み書きについては課題があるだろうと校長も申ししていましたので支援が必要になるかなと思いました。学校から要望があった際に対応していただければと思います。

(教育長)

気になる学校に関しては、ちょうど慣れてきたところで、10連休が入り仕切り直しになるのでしっかり見守っていく必要があるかと思えます。

外国人の生徒に関しても支援ができることがあればと思います。

(垂井委員)

連休明けに電話でもいいので、子どもの様子に十分配慮するように、教育委員会として念を押しておくことが必要かなと思いました。

(教育長)

先日教頭会の中でもそのような話があったので、2日休んだり等あれば連絡をしてもらうようにしたいと思います。

以上で、次第の6. が終わりましたので、これもちまして、平成31年4月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
